

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科		
科目名称 [英語名称]	言葉と文章 [Japanese Language and Composition]			実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	○	
科目コード	111640	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	1年次
教員氏名	藤本 朋美			学位授与の方針 との関連	DP2(2)		
授業概要	この授業の目的は、論理力を身につけることです。論理力とは、考えを正確に伝える力であり、伝えられたものを正確に受け取る力です。つまり、コミュニケーションのための技術であり、言葉と言葉の関係を捉える力です。授業では、言葉と言葉の関係を捉えるための方法を確認しながら、自身の考えを文章にして、正確にわかりやすく伝える技術について学習します。【汎用的技能の育成】						
関連する科目	履修後は、「国語」を履修することが望ましい。						
授業の進め方と方法	毎回の授業において、演習形式の授業を行います。1回の授業構成は次のとおりです。授業の前半では、教材文を読み、練習問題に取り組みます。【自身の知識・理解の確認】後半ではグループディスカッション等にて、前半の学びを深めます。必要に応じて、レポートやプレゼンテーションにより自らの考えを表現します。【知識・理解の獲得】【汎用的技能の育成】毎回の授業終了時には「学習の記録」を書き、自身の学びについて振り返ります。【態度・志向性の育成】						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 論理とは何か 論理的であるとはどういうことか、論理力と思考力の関係から考えます。 言葉と言葉の関係を捉える力 ①関係を整理する 言葉と言葉の関係を捉える力 ②対比関係 言葉と言葉の関係を捉える力 ③同等関係 言葉と言葉の関係を捉える力 ④因果関係 わかりやすい文章、わかりにくい文章の実例をもとに、接続詞に着目しながら情報を整理することについて学びます。 パラグラフライティング ①段落の役割を知る パラグラフライティング ②段落の役割を読み取る 教材文を読み、段落の役割を確認します。 段落の役割を明確にして記述することで、論理的な文章が書けることを学びます。 引用の種類と方法、要約 引用の種類とその方法を確認します。 教材文を用い、直接引用と間接引用について実践します。 意見文を書く ①問題意識をもつ 意見文を書く ②立場を明確にし、全体構成を考える 意見文を書く ③推敲する 新聞記事等の情報を熟読して、問題意識とそれに対する自身の立場を明確にします。 実際に書く作業を通して、問題を提示し自分の意見を伝えることについて学びます。 良い文章とは何か ①良い文章の条件を考える 良い文章とは何か ②意見文チェックリストを作成する 良い文章とは何か ③自己評価する 良い文章とは何か ④相互評価する これまでの学習をもとに、伝える文章の条件について考えます。 チェックリストを用いて、文章を推敲する視点を学びます。 						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 言葉と言葉の関係を整理することができる。【知識・技能の育成】 段落の役割を読み取ることができる。【知識・技能の育成】 主観と客観を区別し、書くことができる。【知識・技能の育成】 知識を活用し、文章を推敲することができる。【知識・技能の育成】 「書くこと」「読むこと」に興味関心を抱き、意欲的に書き、読むことができる。【態度・志向性の育成】 						
授業時間外の学修	授業時に予習課題を提示します。次の授業までに取り組んでください。(1時間程度) 授業後には、「学習の記録」に自らが記した「問い」について、関連した図書・資料などを読み、自身の考えを深めてください。(30分程度)						
課題に対するフィードバック	予習課題は授業内で評価します。レポートは評価後、返却し解説します。	評価方法			学習への意欲的な取り組み(学習の記録) 20点 レポート 30点 最終レポート 50点		
テキスト	必要に応じて資料を配付します。						
参考書	『新版 論理トレーニング』(2,200円+税) 野矢茂樹、産業図書『はじめよう、ロジカル・ライティング』(1,600円+税) 名古屋大学教育学部附属中学校・高等学校国語科、ひつじ書房						
備考							